

区自治協議会提案事業 事業評価書

西蒲区自治協議会(総務部会)

区 分	内 容
テーマ・事業名	住みよい・豊かな・活力あるまちづくり 【事業費予算 1,000千円】
事業目的・概要	<p>【目的】 「観光とスポーツ・レクリエーションのまち」「人の和でつながる安心・安全なあたたかいまち」を目指すために、総務部会が所管する分野(防犯・防災、公共交通、教育、文化、スポーツなど)の調査研究等を行い、地域課題の解決に向けた取り組みを進めます。</p> <p>【概要】 講演会及び防災演劇等を通じて、今すぐに始められる防災を学び、防災に対する意識を高める。</p>
事業の実施実績 (実施回数、参加者数など)	<p>事業名 「演劇で学ぼう 大切な命を守る 今すぐできる防災を」 日時 令和6年2月18日(日)午後2時～午後4時45分 会場 西川多目的ホール 内容</p> <p>① 講演会「西蒲区の活断層について」 講師:新潟大学 災害・復興科学研究所 教授 卜部厚志 氏</p> <p>② 防災演劇「Be prepared～大切な人のために出来ること～」 原作:防災意識向上プロジェクト 出演:劇団KURITAカンパニー</p> <p>③ アフタートーク「今すぐできる防災について」 出演:新潟大学 災害・復興科学研究所 教授 卜部厚志 氏 日本防災士会 新潟県支部 事務局長 成川一正 氏 防災演劇出演者 荒井和真 氏 西蒲区自治協議会 総務部会 柳原大輝 委員 西蒲区自治協議会 総務部会 田中久美子 委員</p> <p>④ 質疑応答(自由参加) 講師:新潟大学 災害・復興科学研究所 教授 卜部厚志 氏 日本防災士会 新潟県支部 事務局長 成川一正 氏</p> <p>対 象 どなたでも 参 加 者 299名</p> <p>【アンケート結果】 提出数:272件(提出率:90%) ・長岡平野西縁断層帯の話など、今まで自分事としてとらえていなかったのとでも参考になった。 ・液化化の話が非常にわかりやすかった。 ・防災演劇は臨場感があって、時間の流れに沿って避難所の開設対応などを知れて身にしみて理解ができた。 ・アフタートークの「備えた分しか使えない」という言葉が印象に残った。</p>
事業の評価 <small>(地域課題の抽出方法や企画立案の評価 事業の公益性・実効性・効率性の評価など)</small>	<p>【成果】 ・10代～70代以上の幅広い参加があり、多くの世代に防災を学んでいただけた。 ・話を聞くのではなく、避難所運営や笛を使用して助けを求めるシーンなど、演劇を通して伝えることでよりリアルに感じていただくことができた。 ・地震に関する話題はタイムリーであり、来場者から期待された事業であった。 ・アンケートの結果から、講演会および防災演劇について「良かった」と答える人が8割を超えており、満足度の高い事業であった。</p> <p>【課題】 ・防災訓練や避難所運営にどのようにして結び付けていくか。</p>
備考	

区自治協議会提案事業 事業評価書

西蒲区自治協議会(保健福祉部会)

区分	内容
<p>テーマ・事業名</p>	<p>支え合いと助け合いの気持ちにあふれるまちづくり 【事業費予算 1,000千円】</p>
<p>事業目的・概要</p>	<p>【目的】 支え合い・助け合う心を育成するための啓発事業などを行い、「人の和でつながる安心・安全なあたたかいまち」を目指します。</p> <p>【概要】 西蒲区は、新潟市で一番高い高齢化率となっており、今後、認知症患者が増加されることが予想される。認知症患者と介護する家族が、共に支え合い、住み慣れた郷土で安心して暮らし続けるヒントをつかんでもらうための映画上映会と講演会を開催する。また、支え合いと助け合いの啓発事業などを継続的に行っていく。</p>
<p>事業の実施実績 (実施回数、参加者数など)</p>	<p>○信友直子さん講演会&映画上映会 事業概要は以下のとおり ■日時:令和6年2月24日(土) ■会場:巻文化会館 ■上映映画名:ぼけますから、よろしくお願ひします。(第1部) ■講師:ドキュメンタリー映画監督 信友直子(上映映画の監督) ■講演会演題:認知症の母が命懸けで教えてくれたこと ■定員:400名(当日参加者589名)※定員枠を拡充した</p> <p>【アンケート結果】 1. 調査方法:来場者を対象に当日アンケート配布を行い、退場時に無記名回答。 2. 回答:546名(有効回答率92.7%) (1)映画内容の感想について(とても良かった・良かった)・・・87.4% (2)講演内容の感想について(とても良かった・良かった)・・・98.2%</p> <p>【主な感想】 ・老老介護の実体験が聴けた。近所付き合い・介護保険の活用について学べた。 ・老老介護の現実や認知症患者の辛さを見る事ができた。</p> <p>○支え合いの意識醸成事業(3のつく日は、支え合いDAY) 【事業概要】 西蒲区が支え合いと助け合いにあふれるまちになることを願ひ「3のつく日は、支え合いDAY」とし、支え合いと助け合いの大切さを継続的に呼びかける。 【事業内容】 ・区役所の広報媒体を活用し、委員アイデアによる啓発メッセージを継続掲載 ・区役所だよりを活用し、地域のボランティア団体や、地域の支え合い活動を連載掲載 ・講演会のアンケートに支え合いに関する質問項目を追加</p>
<p>事業の評価 <small>地域課題の抽出方法や企画立案の評価 事業の公益性・実効性・効率性の評価など</small></p>	<p>【効果】 ①信友直子さん講演会&映画上映会 ・認知症患者を実際に介護している映像は、普段見ることができないものであったため、実際の映像と体験談を一緒に見聞きすることができた。 ②支え合いの意識醸成事業(3のつく日は、支え合いDAY) ・身近なところでの支え合いの重要性を訴えるメッセージを発信することができた。</p> <p>【課題】 ・支え合いの意識醸成事業は、始まったばかりで、まだインパクトに欠けていた。 ・これから家族の介護を背負う若年層への意識啓発を図る必要がある。 ・講演会の参加者のうち60歳以上が8割以上で、男女別では女性が8割だった。若年層や男性を取り込む手法を検討する必要がある。</p> <p>【今後に向けて】 ・支え合いの意識醸成事業のキャンペーン期間を設ける。 ・近所付き合いなど、地域内で気軽に声を掛け合う環境作りについて意見交換を行う。 ・若年層から支え合いの重要性を認識してもらう方策について検討を行う。 ・「3のつく日は、支え合いDAY」を継続的に掲載しないと住民意識は薄れてしまうかもしれないので、引き続き啓発活動を行っていく。</p>
<p>備考</p>	

区自治協議会提案事業 事業評価書

西蒲区自治協議会(まちづくり・産業部会)

区分	内容
<p>テーマ・事業名</p>	<p>西蒲区お宝発信事業 【事業費予算 1,000千円】</p>
<p>事業目的・概要</p>	<p>【目的】 「魅力あふれる農水産物を供給するまち」「歴史と文化が生き続けるまち」「人が行き交い、にぎわいと活力があふれるまち」を目指すために、まちづくり・産業部会が所管する分野(まちづくり、農業、商工業、観光など)の調査研究等を行い、地域課題の解決に向けた取り組みを進めます。</p> <p>【概要】 地域のイベントのお手伝い(サポート)をするボランティアスタッフを募集し、人手不足で困っている地域団体(コミュニティ協議会等)とをつなぎ、相互交流を図る制度「にしかん応援隊」を創設。</p>
<p>事業の実施実績 (実施回数、参加者数など)</p>	<p>○「にしかん応援隊」 ＜制度概要＞ 応援隊(ボランティア)の募集情報を「にしかん応援隊」LINE公式アカウント及び市のホームページに掲載することにより、地域のイベントをお手伝いしたい人(応援隊)と、人手不足で困っている地域団体(受入団体)とをマッチングさせる。</p> <p>＜対象＞ 【応援隊】地域内外のイベントに関わってみたい人、お手伝いしたい人(市民) 【受入団体】地域のイベントで人手不足で困っている団体(コミュニティ協議会等の地域団体)</p> <p>＜モデル実施＞※令和6年度から本格実施 ・12月3日(日)「かもん！カモねぎまつり」(湯東) ・まちづくり・産業部会委員5名が応援隊として参加 ・アンケートの結果、応援隊、受入団体ともに満足度は高かった一方で、募集や受入側の課題が見えたため、それを踏まえて制度やルール等の修正を行った。</p>
<p>事業の評価</p> <p>（地域課題の抽出方法や企画立案の評価 事業の公益性・実効性・効率性の評価など）</p>	<p>＜今後、期待される効果＞ ・応援隊のマッチングにより、受入団体の人手不足の解消。 ・応援隊員としてイベントに関わったことをきっかけとして、地域内外に対しての理解や交流が深まり、地域への愛着や相互交流が生まれる。 ・地域を超えて他団体との交流が深まることで、困ったときに相互協力しやすい風土ができる。</p> <p>＜今後の方向性＞ ・制度が活用されるよう、周知が必要。 →部会委員はイベントや会議の際など、機会を捉えて周知を行う。 ・部会委員及び自治協議会委員は周知も兼ねて積極的に本制度に参加する。 ・制度を運用していく中で、活用状況を踏まえながら適宜見直しを行っていく。</p>
<p>備考</p>	